

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 2月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		帰宅願望がある利用者様が混乱・不穏となられた場合他の利用者様も感化されて色々な影響が出る	この施設での生活が楽しい、ずっと生活していきたい、と思えるように支援していく	・その方の思いを傾聴して寄り添う ・場所を替えたり外に連れ出したり気分転換を計る ・家族様に協力をお願いして電話などでお話をして頂く	3ヶ月
2		認知症のレベルの違いからレクリエーションや作業の提供の難しさがある	利用者様のQOL, ADLの低下を防ぎたい	出来る方には出来る事をドンドンして頂き、難しい方にはスタッフが寄り添いマンツーマンで出来る事を探る	3ヶ月
3		認知症の程度の違う利用者様が同じ空間で過ごす中で指摘をしたり口喧嘩になったり騒然となる事が多い	たまの軽い口喧嘩位は仕方のない事と思うが利用者様ひとりひとりに出来る限り穏やかに過ごせる空間を提供したい	・各々の訴えを否定せずに誠実に話を聞き、出来るレクリエーションを多方面から考え提供しつつ他の利用者様に目が向かない様に気を付ける	3ヶ月
4		ふらつきがある利用者様が数人おられる	転倒されることなく安全に生活して頂く	昼間・・・スタッフ同士声をかけあい目を離さず見守る 夜間・・・頻繁に訪室をする	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。